

ENVIRONMENTAL MANAGEMENT REPORT 2023

株式会社セリタ建設

Be a Ground design company!

SERITA



株式会社 セリタ建設

「環境経営レポート2023」

令和5年5月1日—令和6年4月30日

令和6年8月31日 発行

編 集 方 針

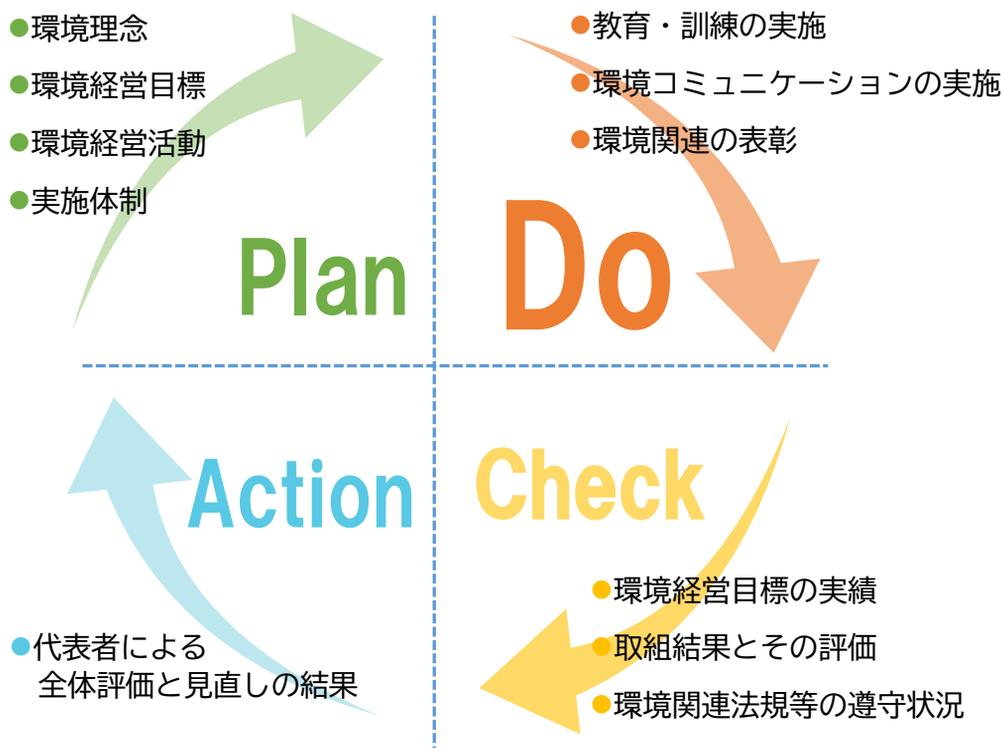
セリタ建設では、持続可能な経済社会の実現に貢献するため、エコアクション21が推進する環境への取組について実施しています。

当社の環境に関する考え方や活動を皆様にご理解いただくため、毎年「環境経営レポート」を発行しています。

2023年度の「環境経営レポート」は、環境経営システムのPDCAサイクルに基づき、環境活動情報を以下のように分類し、環境経営レポートを作成しています。弊社は意識しているプロセスとして、“Plan”の正確さではなく、“Do”までのスピードです。

どれだけ早くアクションをすることによって、その改善や修正することが可能になっていきます。

また、継続的に注力している「セリタ建設の森林づくり」について環境コミュニケーションの項で取り上げています。セリタ建設の環境活動に対する表彰実績についても同項でまとめています。



Contents

● トップメッセージ	3
● コーポレートスローガン	5
● セリタ建設とSDGs 2030年にむけて	7
● セリタ建設 コーポレートビジョン	9
● セリタ建設の概要	11

Plan

● 環境経営理念	14
● 環境経営目標	15
● 環境経営計画	16
● 実施体制	17

Do

● 教育・訓練の実施	20
● 環境コミュニケーションの実施	22

Check

● 環境経営目標の実績	24
● 取組結果とその評価	25
● 独自KPIの取組	35
● 環境関連法規等の遵守状況	36

Action

● 代表者による全体評価と見直しの結果	38
---------------------	----



変えてはならないもの 変えるべきもの 変えてもいいもの

『変えてはならないもの、変えるべきもの、変えてもいいもの』

世界保健機関（WHO）による新型コロナウイルスの緊急事態宣言の解除は、多くの国々で社会や日常生活に大きな変化をもたらしました。まず、政府や地方自治体が設けていた移動制限や外出禁止令が次第に解除され、人々が以前のように旅行や外出を楽しむことができるようになりました。これにより、観光業や飲食業など、パンデミックの影響を大きく受けた業種が回復し始めました。

社会全体としては、衛生管理への意識が高まり、人々が健康と安全を重視する生活様式を継続しています。一方で、コロナウイルスへの対策が常態化し、マスク着用や手洗いなど、新しい公衆衛生の習慣が根付いている場面も多くあります。このように、WHOの解除宣言後も、多くの変化が新たな社会の常識として定着しつつあるのが現状です。

私たちの生活の中で、強制的に変えられた部分もあった事がありますが、普遍的に変えてはならないものとして、基本的人権や生物多様性もあったと思います。

その一方で、変えるべきものとして、持続可能でない環境慣行があります。石油依存のエネルギー消費やプラスチック使用など、環境に負荷をかける慣行は変更すべきです。再生可能エネルギーやサステナブルな資源利用に移行することが求められます。

変えてもいいものとして、仕事の形態 - テクノロジーの進展に伴い、リモートワークやフレキシブルな労働時間など、仕事の形態は変化し続けています。これらは社会のニーズや個々のライフスタイルに合わせて適応可能であり、柔軟に変化させていくことができます。

わたしたちは、今後も文化や社会の発展に伴い様々なことが変動することがありますが、根底にある価値観や目指すべき方向性を見極めながら、進めることが重要だと思います。

Top Message

『イーロン・マスクが取った非合理の理』

マスクは、自らのビジネスと技術のビジョンを社会的に広く共有・推進するプラットフォームとしてツイッターの価値を高く評価しています。彼の主張によれば、このプラットフォームは「自由な言論の広場」としての機能を十分に果たしておらず、改善が必要だとされています。

さらに、マスクはテクノロジーとメディアの領域における彼の影響力をさらに拡大する一環とも見られ、ツイッターの買収後、事業変革が成功すれば、彼の持つ他の事業とのシナジーを生み出し、より大きな市場影響力を持つことが期待されます。

破天荒で突拍子も無い行動に見えて、マスクが進める複数会社で事業戦略が緻密に計算されています。

マスクの戦略のうち、最もわかりやすく一貫性がある特徴は、事業の組み立て方です。具体的には、垂直統合とロード・テクノロジー戦略を採用しています。

垂直統合は、サプライチェーンの多様な段階を企業が直接所有し管理する戦略です。このアプローチにおいて、スペースXは顕著な例であり、「ファルコン9」ロケットの大部分（約70%）を内製化しています。これは、ユナイテッド・ローンチ・アライアンス（ULA）とは対照的であり、ULAは主にシステム統合と打ち上げサービスを担当し、その他のプロセスを1200以上のサプライヤーに依存していません。

また、テスラはサプライチェーンの下流に位置するリチウム採掘を内包する戦略を進めており、これにより原材料の確保とコスト削減を目指しています。これは、多くの従来型自動車メーカーが第三者に依存している部品供給とは一線を画します。

ロード・テクノロジー戦略では、企業は他社製品との相互運用性を排除した独自の技術を開発します。スペースXのスターリンクプロジェクトはこの戦略の一例で、特有の技術仕様により他の衛星受信システムとの互換性を持たせていません。同様に、テスラが展開する充電ネットワークも独自規格により他社の車両との互換性がありません。これらの戦略は、企業が技術革新を推進し、市場における独自の立ち位置を確保するために重要です。

緻密に計算された2つの戦術が、他社を圧倒するだけではなく、依存もしないという、マスクの独自性が際立ちます。果たして日本の企業がスケールする際に、下請会社を使いリスクと業務分散することが一般的な状況で、果たしてマスクのような非合理的な経営判断が出来るのだろうか？

リスクを取る者が勝者となるのか？

リスクヘッジをした者が勝者となるのか？

時代における、非合理の理を突き詰めたいものです。

株式会社セリタ建設
代表取締役

芹田 章博

Akihiro Serita





Be a Ground design company !

コミットメント

地方でも働きがいのある企業にすること

ミッション・ステートメント 提供技術と価値

- 社会を暮らしやすくする
- 地盤改良のプロフェッショナル
- 土木技術の難しいを簡単にする
- ビジネスとビジョンの両立をする

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
社会基盤と豊かな人づくりに貢献すること。

SERITA

株式会社 セリタ建設

セリタ建設は、創立50周年を迎えるにあたり、
社会に価値のある企業で有り続け、
先進的な独自の技術によって
新たな価値を創出し続けたいと思っています。
これからも、私たちの思いや活動を知って頂き、
事業運営を通じて社会の課題解決するために、
キャッチフレーズとコーポレートスローガンを設定しました。

キャッチフレーズへの思い

Be a Ground design company !

常に前向きで過去を否定しない、
過去よりもあるべき将来像に向けて、突き進むイメージを持つ。
地盤改良工事から地盤に関する悩み、すべてを解決する会社であり続ける。
課題の解決に留まらず、最適解を提案できる姿を目指す。
セリタ建設らしさを「design」の中にインスパイヤーしている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称です。

持続可能な開発目標 (SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

※ (参照) 外務省

MDGsとSDGsの比較

MDGs Millennium Development Goals

ミレニアム開発目標

2001~2015年

8ゴール・21ターゲット

(シンプルで明快)

発展国の目標

国連の専門家主導で策定

SDGs Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標

2018~2030年

17ゴール・169ターゲット

(包括的で、互いに関連)

全ての国の目標

(ユニバーサリティ)

国連全加盟国で交渉

実施手段も重視

(資金・技術など)



Go to 2030

セリタ建設とSDGs 2030年にむけて

SDGsは、国際的で目標が壮大なだけに、一見、国や大企業に求められるモノのように写り、中小企業や地方にとっては無縁な話と受け止められかねませんが、そうではないと考えられます。

むしろ中小企業やベンチャー、地方にとってこそ成長のチャンスと捉えられ、率先して活動すべきだと考えます。

その理由に、中小企業は、日本の全企業数のうち99.7%を占め、私たちの生活に密着した財やサービスの提供を行っています。また、中小企業の中には、世界市場の獲得につながる先端技術の活用や、地域で育まれた伝統と特性を有する多様な地域資源を活用する担い手となっている企業が多く存在します。

セリタ建設も地方の建設業ではありますが、特殊技術のノウハウを保有することで、技術の優位性や企業価値の向上に努めています。これまでも、今からも、弊社のような地方企業がSDGsを意識して、経営を成長させることで、地方でも働きがいのある企業となり、活躍の場を創出することが可能であると考えています。

これからは、地理的な優位性や地方の格差を無くし、私達が求める姿に近づくことで、国際的で持続可能な社会発展に貢献できる企業を目指します。

■コミットメント

地方でも働きがいのある企業にすること

働くことは、与えられる課題やモノだけではなく、自ら行動し巻き込みながら、幅広いコトを実現して行くことに、“やりがい”や“働きがい”を感じると考える。自己実現をするためだけではなく、共創できる環境をつくり上げることこそ、我々が目指すビジョンである。

■ミッション・ステートメント

社会を暮らしやすくする

⇒スマートで安心できる暮らしを実現すること

- S-RCクレーブランド、ルベラン、SIMコート、建設インフラIOT
社会を支える地盤をはじめ、暮らしやすさを実現する技術提供をする
暮らしやすさの価値提供に最先端技術(IOT・AI)と土木の融合を行う

地盤改良のプロフェッショナル

⇒社会が認める地盤改良のフロントランナーであり続けること

- 地盤改良（マッドミキサー工法）
浅層・中層混合処理工法を中心とした技術で、社会インフラを支える。
自社のノウハウを最大限に高め、市場での優位性を強める

土木技術の難しいを簡単にする

⇒知財の難しいを建設技術の使いやすいにReモデリングすること

- 建設技術・建設素材のReモデリング
国内・海外に埋もれた技術・知られていない建設技術をさせ、普及させる
国内の普及のルールを熟知することで、それぞれのものがロールモデルになる

ビジネスとビジョンの両立をする

⇒ドリームサポーターが集まり自己実現のできる会社にする

- CSR活動、就労支援施設
すべての人に平等な社会を構築していくために、率先して働く場所を提供する

株式会社 セリタ建設

コーポレートビジョン 2030年

8 働きがいも
経済成長も



解決に向けた提供価値
KEY WORD

ステークホルダー

長期的に目指す姿
[SDGs]

- 暮らしやすさを追求する
- 最先端技術で人に優しく
- IOT・AIを活用して省力化
- 今あるものを大切にする

お客様
地域環境



- 地中の基礎が見える化
- 高いトレーサビリティ
- 安全を超える安心を提供
- 常に新しい技術を提案
- ワンストップサービス

お客様
取引先



- 知的財産の利用・活用
- リニューアルモデル
- 海外技術の橋渡し役
- 確立した技術のモデル化

お客様
取引先



- 多様な人材育成と活用
- 働きがいのある環境づくり
- 地方の底力をみせる

従業員
地域社会





私たちセリタ建設は、人と自然にやさしい地面をつくる会社です。

昭和44年の創業以来、地域社会の発展に貢献すべく、常に新技術の開発に積極的に取り組み、総合土木工事業や地盤改良工事などの分野で、時代のニーズに合った独自の技術を開発、企業化し、特殊土木の専門工事会社として業容を拡大しております。

会社概要

事業者名	株式会社 セリタ建設
代表者	代表取締役 芹田 章博
所在地	(本社・倉庫) 〒843-0002 佐賀県武雄市朝日町大字中野10153-4
環境管理責任者	代表取締役 芹田 章博
担当者	総務部 部長 諫元 壮一郎
連絡先	TEL : 0954-23-7733 FAX : 0954-23-7787 mail@serita.jp https://www.serita.jp/
従業員数	28名 (役員を含む)
床面積	事務所 : 287.10㎡ 倉庫 : 481.72㎡
認証・登録範囲	認証登録組織 : 全組織 (本社) 認証登録事業活動 : 土木工事業、とび・土工工事業
対象期間	データは令和5年5月1日～令和6年4月30日の実績です。 活動については、直近のものも含まれます。
発行	令和6年8月31日 (土) (次回は令和7年8月発行予定)

事業内容

地盤改良工法

-マッドミキサー工法-

自社開発したマッドミキサー（攪拌機）をつかって、人と自然にやさしい地盤づくりをします。浅層～中層改良を得意領域とし、工事の深さに応じて、M-I型・M-II型を展開しています。建物の基礎工事やため池、河川など不安定な地盤を強固な地盤に変え、人々の安全とくらしを守ります。

対応深度：M-I型（0.5m～2.0mまで） M-II型（2.0m～8.0m）

特許取得やNETIS登録を行い、新たに情報化施工や脈動噴射システムを追加し更なる技術力と信頼性の向上を追求しております。

環境配慮型工法

-S-RCクレーグランド工法-
-ルベラン-

間伐材をつかった自然にやさしいグランドづくりです。S-RCクレーグランド工法は、間伐材の樹皮と土を混ぜ合わせて、水たまりがでにくく、草が生えにくい快適なグランド環境を提供します。ルベランは、間伐材をチップ状にし、特殊樹脂を混ぜ合わせた屋外型舗装パネルです。滑りにくく、クッション性があり、歩きやすさと安全性を追求したユニバーサルデザインになっています。

人工芝

-セリターフ工法-

ユーザー目線で使用感を追求し、使用するユーザー環境にも配慮した工法です。

従来人工芝の充填材として廃材のゴム等が使用され、飛散流出、ゴム特有のガスや臭い、表面温度が上昇などさまざまな問題が発生していました。

間伐材で発生するスギ・ヒノキ100%の樹皮と砂を団粒化させることで、飛散流失し難く、無臭で抗菌性があり、表面温度を抑えることより、天然芝に近い快適な人工芝グラウンドを実現しました。

森林保全活動

平成22年9月より武雄市と協力して始まった「元気な企業の森林づくり-柏岳-」森林機能を保つための間伐や下刈りのほか、散策路の整備や樹木情報の看板を設置し、訪れた人々が楽しみながら自然と触れ合える空間をつくっています。現在は2度に渡る豪雨災害により山頂までの管理道路が崩落し活動の縮小が余儀なくなっております。活動再開に向けた復旧作業準備に取り組んでおります。

アロマオイル事業

-MORIRECO[モリレコ]-

森林活動からステップアップして、柏岳の資源を活用し、平成25年12月よりアロマオイルの事業を開始。オイルは、柏岳のヒノキと九州産のヒノキをブレンド。さらに、レモングラスを加え、甘酸っぱさと落ち着きのあふる香りのアロマオイルとして販売しています。森林活動に参加できない人でもふるさと納税サイトなどでも、オイルを購入することで、売上の一部を森林活動の整備費用や啓発活動費として活用し、お客様とともに柏岳の自然を守っていきます。

受賞歴

- ・環境活動レポート大賞・九州 令和元年度「九州環境カウンセラー協会特別賞」
- 平成24年度より「奨励賞」、「地域社会貢献賞」、「九州地方環境事務所長特別賞」、
- 「環境活動レポート大賞・九州大賞」、「選考委員会特別賞グッドデザイン賞」、2度目の「九州地方環境事務所長特別賞」「環境経営賞」に続き、令和元年度「九州環境カウンセラー協会特別賞」を受賞する
- ・エコユニットアワード2013「優秀賞」受賞・エコ検定アワード2015 エコユニット部門「大賞」受賞
- ・平成26年度佐賀県緑化功労者「知事感謝状」受賞
- ・第24回環境コミュニケーション大賞 環境経営レポート部門「優良賞」今回で5度目の入賞
- ・環境 人づくり企業大賞2020「優秀賞」受賞にて7年連続入賞
- ・佐賀県エコドライブコンテスト2017「優秀賞」受賞

Plan

環境理念 / 環境経営目標 / 環境経営計画 / 実施体制



環境憲章

〔環境理念〕

セリタ建設は、地球環境の保全に配慮した経営を実践することが、
企業の持続的発展に不可欠であると認識し、
環境保全活動に継続的に取り組みます。

行動指針

- 1 具体的な環境目標を定め、継続的な改善に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 化学物質使用量の削減
 - (5) グリーン購入の推進
 - (6) 環境配慮型工法での工事の推進
- 2 環境関連の法律等を遵守します。
- 3 環境負荷の小さい工法・製品を研究・開発し供給します。
- 4 環境・森林保全に配慮した広報・啓発・社会活動を推進します。
- 5 環境教育・訓練を実施し、社内における環境保全の知識・認識の向上を図ります。

平成25年5月1日制定

平成27年5月1日改訂

株式会社セリタ建設
代表取締役

芹田 章博

環境経営目標

環境目標	単位	場所	基準年実績値	令和3年度目標値 -1%削減	令和4年度目標値 -2%削減	令和5年度目標値 -3%削減	令和6年度目標値 -4%削減	令和7年度目標値 -5%削減
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	事務所	54,381.79	53,837.97	53,294.15	52,750.33	52,206.51	51,662.70
		建設現場	632,222.56	625,900.33	619,578.10	613,255.88	606,933.65	600,611.43
		全体	686,604.35	679,738.30	672,872.25	666,006.21	659,140.16	652,274.13
1) 電気使用量の削減	kW/h	事務所	43,995.08	43,555.12	43,115.17	42,675.22	42,235.27	41,795.32
		建設現場	1,647.03	1,630.55	1,614.08	1,597.61	1,581.14	1,564.67
		全体	45,642.11	45,185.67	44,729.25	44,272.83	43,816.41	43,359.99
2) 灯油使用量の削減	ℓ	事務所	1,309.91	1,296.81	1,283.71	1,270.61	1,257.51	1,244.41
		建設現場	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		全体	1,309.91	1,296.81	1,283.71	1,270.61	1,257.51	1,244.41
3) 液化石油ガス使用量の削減	m ³	事務所	44.28	43.83	43.39	42.95	42.50	42.06
		建設現場	-	-	-	-	-	-
		全体	44.28	43.83	43.39	42.95	42.50	42.06
4) ガソリン使用量の削減	ℓ	事務所	8,689.95	8,603.05	8,516.15	8,429.25	8,342.35	8,255.45
		建設現場	7,103.79	7,032.75	6,961.71	6,890.67	6,819.63	6,748.60
		全体	15,793.74	15,635.80	15,477.86	15,319.92	15,161.98	15,004.05
5) 軽油使用量の削減	ℓ	事務所	101.07	100.05	99.04	98.03	97.02	96.01
		建設現場	224,174.60	221,932.85	219,691.10	217,449.36	215,207.61	212,965.87
		全体	224,275.67	222,032.90	219,790.14	217,547.39	215,304.63	213,061.88
廃棄物排出量の削減	t	事務所	0.83	0.82	0.81	0.80	0.79	0.78
		建設現場	406.63	402.56	398.49	394.43	390.36	386.29
		全体	407.46	403.38	399.30	395.23	391.15	387.07
水使用量の削減	m ³	全体	815.25	807.09	798.94	790.79	782.64	774.48
化学物質使用量の削減	Kg	全体	127.55	126.27	124.99	123.72	122.44	121.17
環境配慮型工法の提案	件	全体	21件	33件	35件	37件	39件	41件
森林保全活動	件	全体	20件	20件	20件	20件	20件	20件
環境商品	個	全体	90個	85個	90個	90個	90個	90個
独自KPI 環境KPI 千円当たりのCO ₂ 量	kg-CO ₂ /千円	全体	1.18	1.16	1.15	1.14	1.13	1.12
環境KPI 施工数量当りの燃料消費率	ℓ/m ³	全体	1.32	1.30	1.29	1.28	1.26	1.25

※ 二酸化炭素排出量削減において、購入電力の調整後排出係数は0.347-kg-CO₂/kWh（2018年度九州電力）・0.574-kg-CO₂/kWh（2018年度au電気）を使用した。

※ 令和3年度より目標削減を1%ずつに変更する。但し、「環境配慮型工法の提案」「森林保全活動」「環境商品」に関してはその通りではない。

環境経営計画

コミットメント

8

働きがいも
経済成長も

目標SDGs



二酸化炭素排出量の-3%削減（責任者：諫元・中尾）

取組目標		活動項目		担当
1	電気使用量の-3%削減	①	昼休みの消灯（12:00～13:00）	事務所
		②	パソコンの省電力設定	全社
		③	パソコン・シュレッダーの電源を切る（未使用時）	
2	灯油使用量の-3%削減	①	フィルター清掃	全社
		②	着火点の点検	
3	液化石油ガス使用量の-3%削減	①	湯沸かし器の低温利用	事務所
		②	夏場の使用を控える	
4	ガンリン使用量の-3%削減	①	エコドライブ手順書を決め、実行する	全社
		②	安全運転講習会への参加	建設現場
5	軽油使用量の-3%削減	①	エコドライブ手順書を決め、実行する	全社
		②	安全運転講習会への参加	建設現場

廃棄物排出量の-3%削減（責任者：諫元・中尾）

取組目標		活動項目		担当
1	一般廃棄物の-3%削減	①	コピー用紙の裏紙活用（社内書類・メモ紙等）	事務所
		②	文書の電子化推進	
2	リサイクルの推進	①	段ボール、雑誌等の古紙リサイクル	事務所
		②	ペットボトル、ビン、缶類等の容器リサイクル	
		③	建設廃材の3R	建設現場

水使用量の-3%削減（責任者：仲野）

取組目標		活動項目		担当
1	節水活動	①	水道蛇口の漏水確認	事務所
		②	ホースの先端にシャワー口をつける	

化学物質使用量の-3%削減（責任者：飯盛）

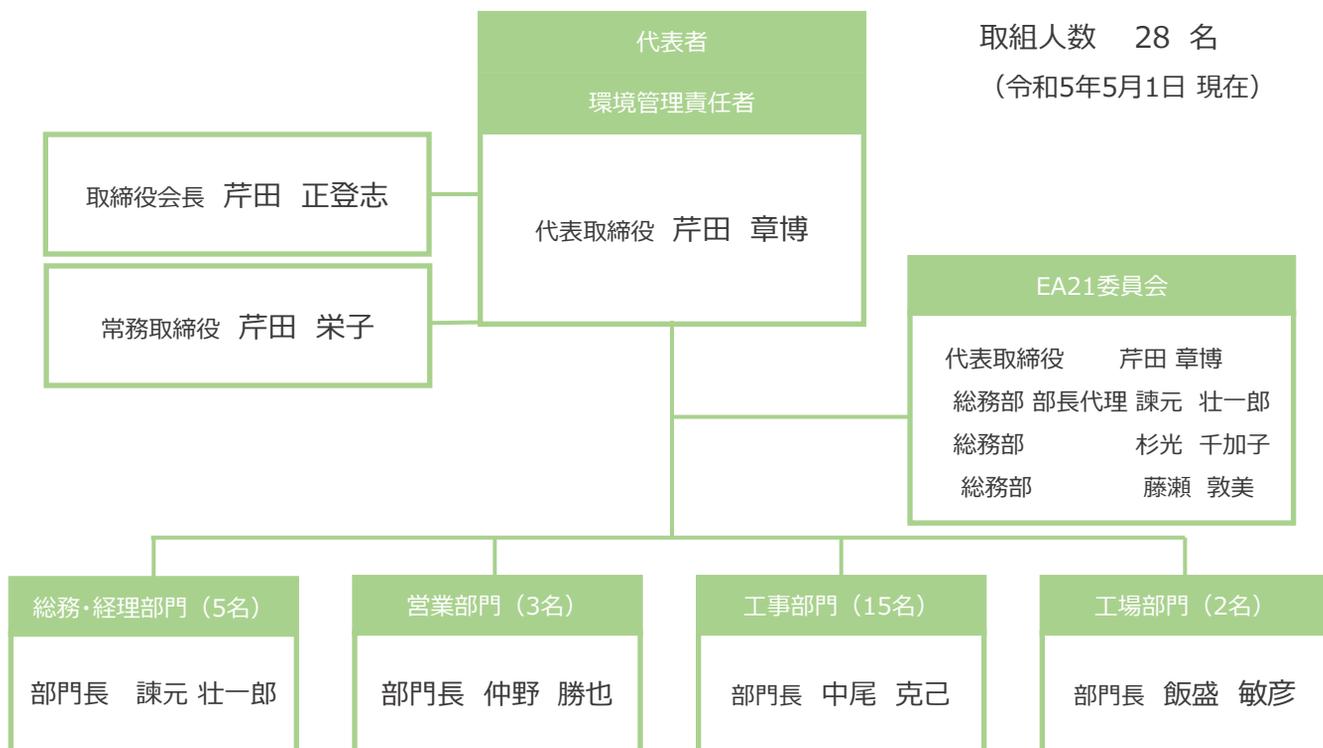
取組目標		活動項目		担当
1	使用回数の低減	①	事故等による塗り替え回数を減らす	建設現場
		②	希釈量の確認	
		③	車両・重機を定期的に点検する	

環境配慮型工法の提案と森林保全活動（責任者：仲野・中尾・諫元）

取組目標		活動項目		担当
1	環境配慮型工法の推進（目標：35件）	①	提案件数を増やす	全社
2	森林保全活動（目標：20件）	①	ボランティアの森林保全・整備活動を実施する	
3	環境商品の推進（目標：90個）	①	環境商品の販売数を増やす	

※実施期間は、令和5年5月1日～令和6年4月30日である。

実施体制



所 属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する。 環境経営責任者、EA21委員会を任命する。 環境への取組を実施するため資源（人・もの・金）を準備する。 EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し環境実績を向上させる。 環境経営目標、環境経営計画を作成する。 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認する。 上記の結果を代表者に報告する。 環境方針以外の環境文書の制改定を行う。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 社外から環境情報の収集と伝達を行う。 EA21委員会の開催を3ヶ月に1回とする。 委員会で取組の結果を見直し、改善点を是正する。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する。 環境目標達成のため、責任をもって自部門の環境活動を推進する。 自部門で発生した問題点の是正措置、予防処置を実施する。 自部門に関連する法規則等を遵守する。 自部門の教育・訓練を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

※環境記録の保存期間は5年とする。

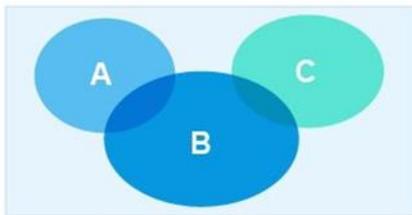
MECE (ミーシー)

あなたの考え 偏っていませんか？

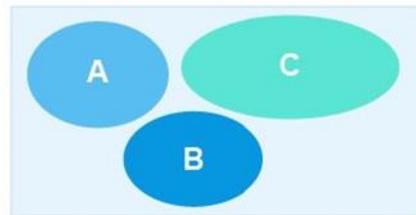


「Mutually (互いに)」「Exclusive (重複がなく)」「Collectively (全体的に)」「Exhaustive (漏れがない)」の頭文字をとった考え方は、

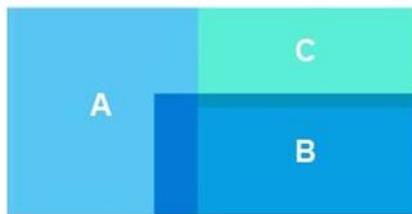
ミーシーと読みます。情報の整理における重複、抜け落ちを防ぐための考え方で、リストアップの際の確認として話題に上がるケースが多いです。



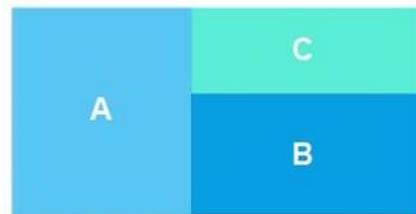
モレあり、ダブリあり



モレあり、ダブリなし



モレなし、ダブリあり



モレなし、ダブリなし = MECE

例えば、市場調査を行う際に消費者を「年齢」「性別」「収入」で分類する場合、これらのカテゴリは重複しないように設定し、

全ての消費者が少なくとも一つのカテゴリに属するようにします。

この方法で情報を整理すると、明確で効果的な分析が可能になります。

Do

教育・訓練の実施 / 環境コミュニケーションの実施



教育 ・ 訓練の実施

エコアクション21 報告会と事例発表

これまでは5月と10月の年2回開催の全体会議にて、エコアクション21の報告会を実施していたが、昨年に引き続きコロナ対策の為全体会議は行わなかった。

前回の審査を終えての昨年度の反省と今年度の環境方針、環境経営計画、各部署の役割分担等、具体的な行動や改善策について各部署ごとに話しあう。

緊急事態の対応訓練

令和5年12月8日（金） 13：00～14：00

油類流出事故を想定した訓練の実施を行った。

仮の発生場所を整備作業場と定め、第一発見者が油の流出を発見した。

第一発見者が整備作業場責任者と事務所に報告後、吸着マット・ウエスを持ってきて、吸着(シミュレーション)を行った。

総務は、流出確認の段取り及び河川・排水路に油類が流出していないか確認し、最後に吸着マットの保管場所について全員で確認を行った。



油流出対応訓練



環境関連資格の取得

セリタ建設では、エコアクション21の日々の環境活動の取り組みの中で、社内での環境意識の向上を目指すとともに、基本的な環境知識を身につけることを目的として社員への資格取得を推奨している。

・環境社会検定試験（eco検定） **6名** 取得

世界的な環境意識の高まりより、企業において、ビジネスと環境の相関を的確に説明できる人材の育成が欠かせないものとなっている。eco検定は、複雑・多様化する環境問題を幅広く体系的に身に付く「環境教育の入門編」となり、幅広い業種・職種で活用されている。

【出典】東京商工会議所 検定試験情報 eco検定ホームページより
<https://www.kentei.org/eco/miryoku.html>



・エコリーダー研修（ビジネスエコ） **1名** 取得

環境社会検定試験（eco検定）合格者（エコピープル）へのスキルアップ事業の一環として、東京商工会議所と一般社団法人日本経営士会は環境経営分野における専門的・指導的な人材養成を目的とした研修

【出典】一般社団法人日本経営士会ホームページより
http://www.keieishikai.com/seminar_el/110305_tokyo.html



・カーボンマネージャー実証事業研修 **1名** 取得

内閣府がすすめる「実践キャリア・アップ戦略」の1つであるカーボンマネージャー制度の研修に参加。「省エネ分野」と「温室効果ガス排出削減・森林吸収に係る診断等(審査・検証等を含む)専門人材の育成」を目指すもので、既存の各種制度や技術に関する知識・技能を基本としつつ、実務経験等も重視し、特定の部門や施設毎、温室効果ガス事の専門性を活かす研修として進められた。

【出典】NPO法人 生活・環境づくり21 カーボンマネージャー実証事業レベル1
研修テキストより



環境コミュニケーションの実施

「柏岳 森と風のプロジェクト」

2019年、2021年と2度に渡る豪雨災害発生により、柏岳の登山道も斜面が崩壊し全面通行止めとなりましたが、今年度も引き続き継続されていた。

しかし2024年3月には全面通行止めが解除となり、今後は市と連携をし柏岳の整備、保全活動へ取り組んでいけるのではないかとされる。

これまで保全活動が止まっていた為、未だ危険な場所等もあるかと思うので、十分に気を付けて今後活動して行ければと思う。

巡視時写真



Check

環境経営目標の実績 / 取組結果とその評価 / 環境関連法規等の遵守状況



環境経営目標の実績

Check

環境経営目標の実績
取組結果とその評価

環境経営目標	単位	場所	令和5年度 削減目標	令和5年度 取組実績	評価	達成率
二酸化炭素排出量の削減	KgCO ₂	事務所	52,750.33	45,026.75	○	136%
		建設現場	613,255.88	379,842.57		
		全体	666,006.21	424,869.32		
1) 電気使用量の削減	kWh	事務所	42,675.22	35,398.00	○	117%
		建設現場	1,597.61	1,314.00		
		全体	44,272.83	36,712.00		
2) 灯油使用量の削減	ℓ	事務所	1,270.61	1,226.00	△	95%
		建設現場	0.00	100.00		
		全体	1,270.61	1,326.00		
3) 液化石油ガス使用量の削減	m ³	事務所	42.95	7.70	○	183%
		全体	42.95	7.70		
4) ガソリン使用量の削減	ℓ	事務所	8,429.25	7,371.98	○	129%
		建設現場	6890.67	3,460.63		
		全体	15,319.92	10,832.61		
6) 軽油使用量の削減	ℓ	事務所	98.03	1,755.61	○	133%
		建設現場	217,547.39	143,840.68		
		全体	217,547.39	145,596.29		
廃棄物排出量の削減	t	事務所	0.80	0.98	○	100%
		建設現場	827.37	206.91		
		全体	828.17	207.89		
水 使用量の削減	m ³	全体	790.79	797	△	99%
化学物質使用量の削減	Kg	全体	123.72	14.76	○	188%
環境配慮型工法の提案	件	全体	37件	20	×	54%
森林保全活動	件	全体	20件	20	○	100%
環境商品	個	全体	90個	193	○	214%
独自KPI 環境KPI 千円当たりのCO ₂ 量	kg- CO ₂ /千 円	全体	1.14	0.67	○	141%
環境KPI 施工数量当たりの 燃料消費率	ℓ/m ³	全体	1.28	0.63	○	151%

※ 目標達成率は、((削減目標-取組実績)÷削減目標+1)×100である。

環境配慮型工法、森林保全活動、環境商品は、取組実績÷目標×100である。

※ 評価の基準は、目標率100%以上の場合は○[達成]、目標率95%以上の場合は△[ほぼ達成]、95%未満は×[未達成]とする。

※ 環境KPIの設定は、千円当たりのCO₂量=総CO₂量÷売上高(今年度売上高は632,907千円)である。

取組結果とその評価

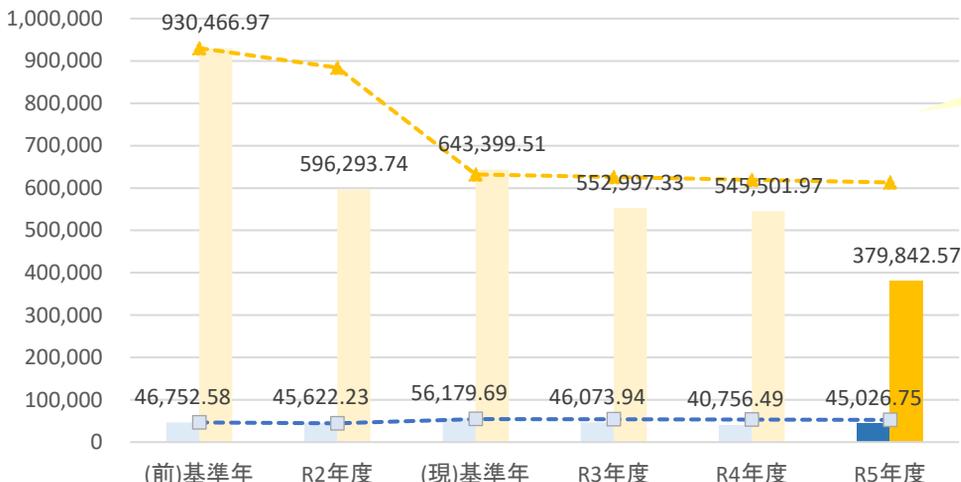
※ 棒グラフの値は実績値で、折れ線グラフの値は目標値とする。



二酸化炭素

[取組目標] 電気、灯油、液化石油ガス、ガソリン、軽油の使用量 **-3%**削減

(単位：Ka-CO₂)



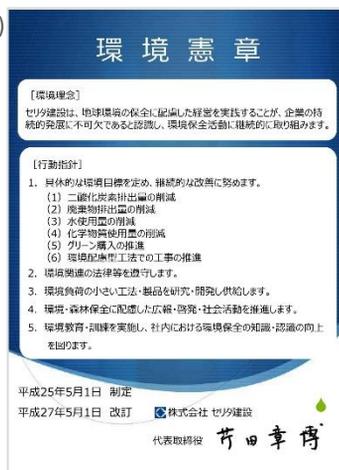
全体達成率
136%

活動内容

取組内容の揭示

前年度同様、事務所1階の出入口に、今年度の目標を掲示しており、社員が出勤する際に確認できるようにしている。

目標を、皆が確認する事により、声を掛け合えることが出来るため、社員の取り組み意識を向上させる事が出来る。個々でも目標に向けて取り組むように促している。



環境憲章

行動目標

取組結果の評価



CO₂排出となる各項目については「灯油」に関して暖房器具を時と場合で電気使用のものに変更して削減を目指したが、項目達成を達成することが難しかった。しかし、「電気」「液化石油ガス」「ガソリン」「軽油」は目標を達成する事が出来ている。同時に、前年度より二酸化炭素の排出量を抑えることが出来ており、削減目標を達成することが出来た。

次年度の取組み



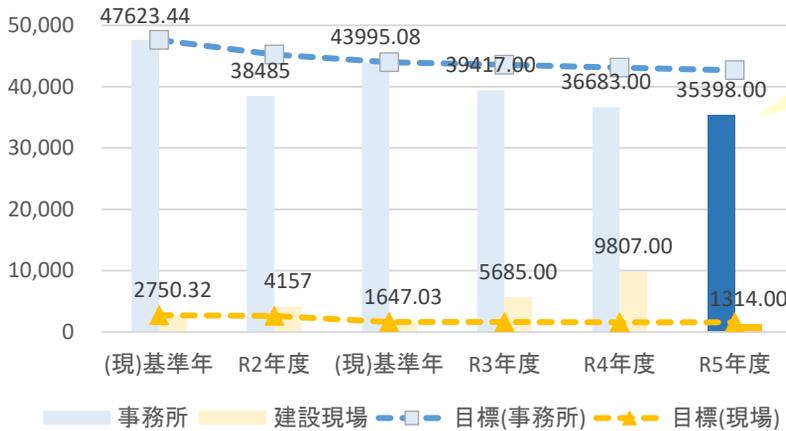
これまでの取り組みと同様に、CO₂排出量は各項目の合計によって変動するため、次年度も、各項目の目標達成を目指しつつ、引き続きCO₂排出量の削減に努めていきたい。また、各項目が目標に沿って進行しているかを継続的に確認し、使用量が増加している項目については特に注意して、引き続き確認を行ってきたい。



二酸化炭素



電気

[取組目標] 電気使用量 **-3%削減**

活動内容

昼休みの消灯時間の延長
(12:00~13:00)
パソコン・シュレッダー機の
未使用時の電源OFF
エアコンONのルール化
パソコンの省電力設定

取組結果の評価



Inuzuka

前年度と同様に、昼休みには消灯し、パソコンやシュレッダーの未使用時には省電力対策を実施している。また、冬には電気と灯油を使う暖房器具を交互に使用し、使用量を抑えている。そのおかげで今年度は事務所、現場共に目標を達成する事が出来た。

次年度の取組み



Inuzuka

これまで実施している昼休みの消灯や、パソコン・シュレッダーの未使用時の省電力対策を引き続き行い、無理のない範囲で使用量を抑えていきたい。また、建設現場についても気候による負担が大きいため、こちらも無理のない範囲で柔軟な省電力と節電を心掛けていきたい。



節電 呼びかけ掲示



昼休みの消灯



Clip 会社Topic

DXアワード受賞いたしました！！

2024年3月19日 佐賀県主催 SAGA INNOVATORS TALK LIVE 2024 SpringにてDXアワードを受賞いたしました。私たちセリタ建設は、10年以上前からDX（デジタルトランスフォーメーション）を取り入れ、組織変革を進めてきました。これにより、業務効率の向上、顧客対応の強化、プロジェクト管理の最適化を実現し、企業の競争力を高めてきました。また、SaaSを活用した経営戦略やホームページの最大化、SEO対策といったデジタルマーケティングにも注力し、建設業界ではまだ珍しい取り組みを通じて営業スタイルを大きく変革しました。この成果が業界内外で高く評価され、今回のDXアワード受賞に至ったと考えています。

今後も、業務効率のさらなる向上と顧客満足度の強化を図りながら、建設業界の枠を超えたDX化を進め、持続的な成長を目指してまいります。





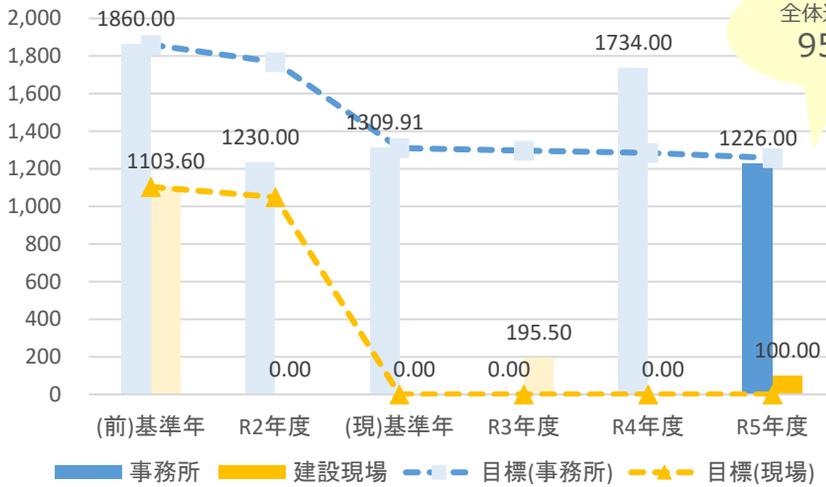
二酸化炭素



灯油

[取組目標] 灯油使用量 **-3%**削減

(単位：L)



活動内容

フィルターの清掃
着火点の点検



フィルター清掃

取組結果の評価



Inuzuka

前年度同様、冬場に電気と灯油を使用する暖房器具を状況に応じ使用する事により、気温対策を行ったため、前年度よりも灯油の使用を抑える事が出来た。

次年度の取組み



Inuzuka

次年度も場合に応じ、灯油と電気暖房器具の使用を切り替えていくことで、無理なく出来る限りの範囲で使用しながら、使用量を抑えていきたい。



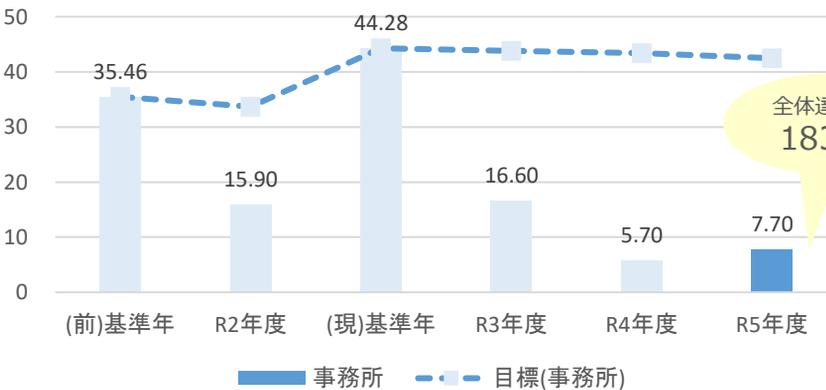
二酸化炭素



液化石油ガス

[取組目標] 液化石油ガス使用量 **-3%**削減

(単位：L)



活動内容

湯沸かし器は低温で使用する
夏場の使用を控える



ガス給湯器

取組結果の評価



Inuzuka

取組結果の評価

今年度は前年度に比べ使用率は上がったものの、冬場での低温使用を行い使用量目標は達成する事が出来た。

次年度の取組み



Inuzuka

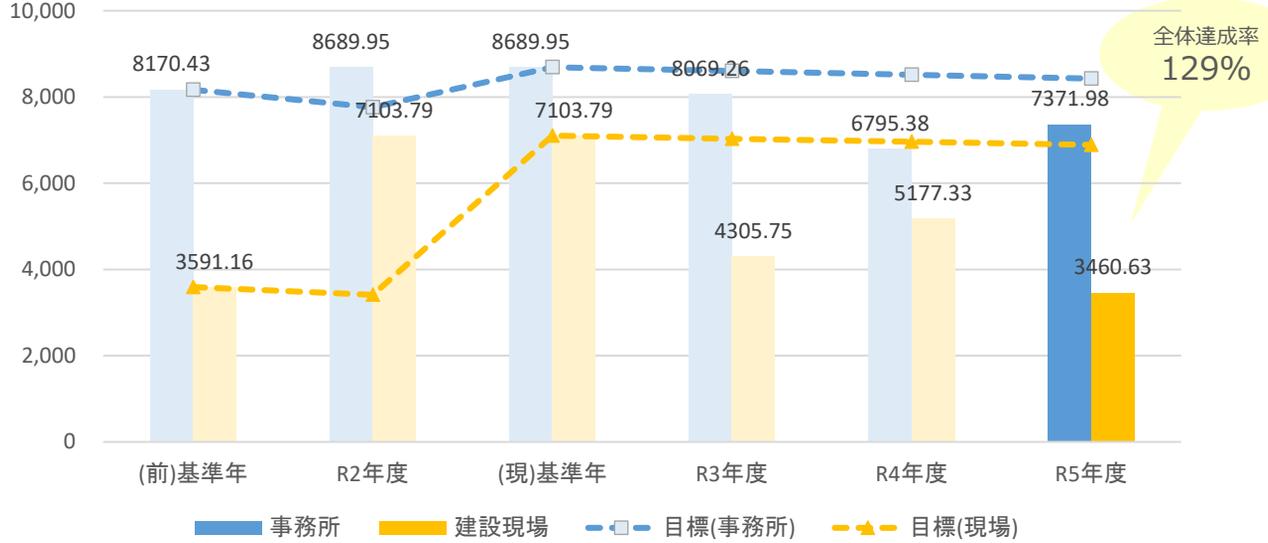
今年度と同様に、稼働場所では夏の使用を控え、冬には無理のない範囲で低温で使用するよう心掛け、使用量を抑えるよう努めていきたい。

二酸化炭素

ガソリン

[取組目標] ガソリン使用量 **-3%**削減

(単位:L)



活動内容

エコドライブ手順書を決め、実行する
安全運転講習会への参加



エコドライブ手順書



ガソリン車両

取組結果の評価



事務所の使用量が増えたガソリンだが、昨年度よりは全体の使用量が減少する事が出来、目標を達成する事が出来た。工事件数・施工現場によって例年使用量が左右されるが、これからも一人一人がエコドライブを心掛けて運転をしていければと思う。

次年度の取組み



次年度も今年度と同様に、各運転者によるエコドライブの実施を通じて目標達成を目指していく。ただし、工事件数や施工現場によって使用量が大きく変動するため、ガソリンの使用量に加えて独自のKPI指標も併せて算出し、確認を継続しながら実施していきたい。



二酸化炭素



軽油

[取組目標] 軽油使用量 **-3%**削減



活動内容

エコドライブ手順書を決め、実行する
安全運転講習会への参加



発電機の軽油使用



車両の軽油使用



重機の軽油使用



取組結果の評価



前年度と同様に、その年の工事件数や現場によって使用量が影響を受けるため、軽油の使用量が増加する場合もあるが、今年度も引き続き現場や営業時の移動車両、重機、発電機などで使用している。ガソリンと重なる部分もあるが、車両や重機においてはエコドライブの推進とアイドリングの防止を徹底し、削減に繋げていきたい。

次年度の取組み



次年度も今年度と同様に、車両や重機の各運転者がエコドライブを実施することで目標達成を目指していきたいと考えている。また、工事件数や施工現場によって使用量が大きく変動するため、ガソリンと同様に独自のKPI指標も併せて算出し、確認を続けながら安全運転に努めていきたい。



Clip その他 会社Topic Part2

建設業でも、SEO/MEO！

MEO（Map Engine Optimization）は、Googleマップなどの地図アプリでビジネスが検索上位に来るようになるための手法です。主に、店舗を持つビジネスが「地域名＋業種」で検索された時に目立つよう施策を行います。これにより、その地域の人々や潜在顧客の注意を引き、店舗への集客を増やすことが目的です。地図上での見やすさとアクセスを改善することが、MEO対策の主な取り組みです。



PVの内向け・外向け

会社のプロモーションに社員が参加することには、彼らの承認欲求を満たすという効果があります。社員が映像や写真に登場することで、自己の仕事への貢献が可視化され、職場での存在感や誇りを感じる機会となります。



これにより、社員のモチベーション向上に繋がり、仕事への熱意やチームスピリットの強化が期待できます。さらに、社内外に向けて自社の一員であることをアピールすることができ、企業文化の育成や良好な企業イメージの構築にも寄与します。



<https://www.youtube.com/@serita>

インスタグラムを更新しています!!

私たちは、インスタグラムを通じて情報を定期的にお届けしています。インスタグラムの内容は主に、HP内にある様々なノウハウが詰まった記事のご案内が中心です。弊社の記事に興味を持っていただき、HPを訪問していただけるきっかけとなれば幸いです。

また、インスタグラムのハイライトには、記事へのリンクに加え、ルート情報やニュースの他に、臨場感あふれるセリタ建設オリジナルの映像もアップされており、楽しんでご覧いただけるコンテンツとなっております。

これからも継続的に、皆様に幅広い情報を提供していきたいと考えています。

ぜひ、弊社インスタグラム・HPも併せてご覧ください。

■セリタ建設
インスタグラム→



■セリタ建設
HP→



↑インスタグラム HP↓

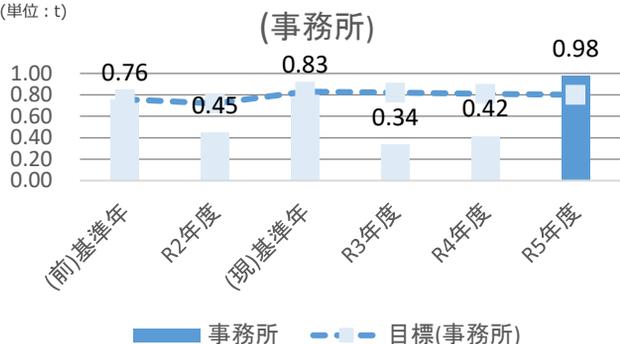




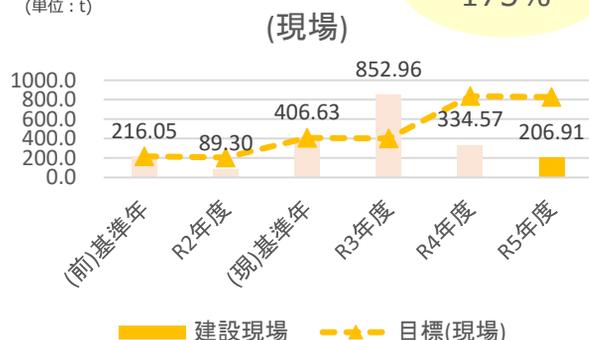
廃棄物

[取組目標] 廃棄物排出量 **-3%**削減

(単位：t)



(単位：t)



全体達成率
175%

活動内容

一般廃棄物の削減

- ・文書の電子化推進
- ・コピー用紙の裏紙活用

リサイクルの推進

- ・段ボール、雑誌等の古紙リサイクル
- ・ペットボトル、ビン、缶類等の容器リサイクル
- ・建設廃材の3R化

ペットボトル蓋回収



エコキャップは「医療支援」「障がい者支援」等社会貢献活動に使用されている



CLOUDSIGN

電子契約書類推進

種類別リサイクル回収

コピー用紙の裏紙活用



取組結果の評価



前年度と同様に、事務所では「ペットボトル」「空き缶」「ダンボール」「ペットボトルキャップ」などの資源物のリサイクルを推進している。しかし今年度は年度末に大掃除をした際、事務所より多くの廃棄物が出た結果、目標達成が厳しかった。建設現場では廃棄物量を大きく抑えることが出来ている。文書や社内コミュニケーションについては、電子メールや社内SNSを活用して電子化を進め、契約書類についても一部を電子契約に移行している。

次年度の取組み



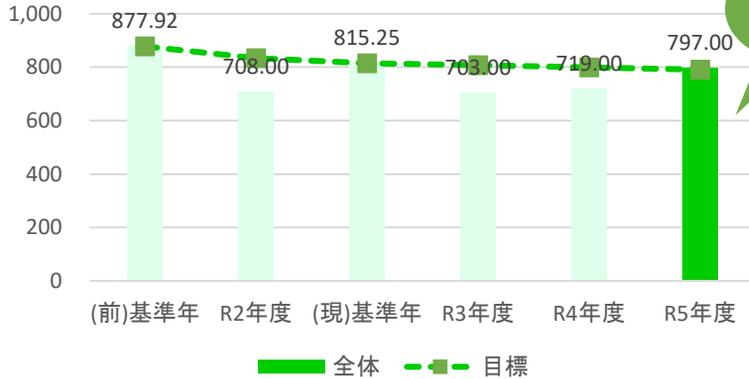
次年度も事務所・建設現場ともに再生資源・最終処分量の分別廃棄を行うことで、目標を達成できるように取り組んでいきたいと思う。また、社外・社内の文書については電子化を進め、可能な書類は電子ファイルでの譲受を継続していく。リサイクル活動についても、次年度も引き続き推進していく予定である。



水

[取組目標] 水使用量 **-3%**削減

(単位: m)



活動内容

水道蛇口の漏水確認

ホースの先端にシャワー口をつける



漏水注意喚起



シャワー口取付

取組結果の評価



Inuzuka

12月にトイレの配管が原因不明の故障により漏水。漏水の件、修理業者への連絡は早々としたものの原因不明の為、修理業者の対応が遅れいつもよりも水の使用量が一時的に上昇し今回は目標達成に一步及ばなかった。

次年度取組み



Inuzuka

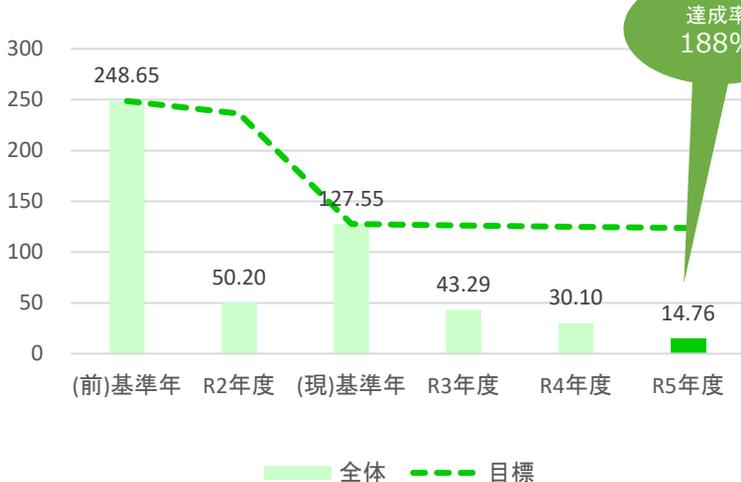
次年度も引き続き漏水と節水の注意喚起を行うとともに、ホースの先端にシャワー口を取り付けることで、水の使用量を削減し、節水と漏水対策に努めていきたい。



化学物質

[取組目標] 化学物質使用量 **-3%**削減

(単位: kg)



活動内容

事故等による塗り替え回数を減らす

希釈量の確認

車輛、重機を定期的に点検する



化学物質在庫状況

化学物質
使用管理表

取組結果の評価



Iimori

前年度に引き続き今年度も工事に伴うラッカースプレーの使用が主だった。補修に伴う使用はそこまで多くなく使用量も最小限に留められている。今後も使用量、保管量を必要最小量に留めていきたい。

次年度取組み



Iimori

前々年度から前年度、今年度と徐々に使用量も抑えられつつある。次年度も引き続き継続していこうと思う。



商品・サービス



環境配慮型
工法の提案

[取組目標] 環境配慮型工法の提案 **33件**

(単位: 件/年)



達成率
54%

活動内容
提案件数を増やす

自社特許のマッドミキサー攪拌で効率化アップ

異砂土舗装

- 花崗石の風化でできた異砂土を10cm~15cmで表層施工
- 施工が簡単で工費が安く、透水性・保水性性に優れた排水性・耐摩耗性がある可成り硬い舗装が完成される

S-RCクレーグランド工法

- スチール製の機殻をサイクリ、土に混合し15cm~15cmで表層施工
- 防振性・防塵性・排水性などが、クレーグランドに比べて大幅に最適
- 施工費が管理費減、体への負担が小さくランニングコストが上がる

カーボンオフセットを作った、新たなビジネスモデル。

スギやヒノキの樹皮

木材の比重
0.35

100㎡で約 **2.5t** のCO₂削減(厚さ15cm)

CO₂量=炭素×4.4÷12

炭素量は「重量の42.5%」
42.5%÷50%(木材乾燥時の炭素量)×85%

ポイント

- 建設資材へリサイクル。
- カーボンプリントアップでCO₂削減。
- CEOクレジットで日本の削減量に直接貢献。

S-RCクレーグランド工法(自社HPより)

取組結果の評価

Inuzuka

環境配慮工法について問い合わせはあったものの、実施工へは繋がらず、目標達成が厳しかった。地球温暖化、自然災害、大気汚染、水質汚染、廃棄物問題など、世界中で環境問題が深刻化しているので引き続き提案を続けていきたい。

次年度の取組み

Inuzuka

今年度と同様に、環境配慮型工法の提案を継続するとともに、既存の工法にICT技術を活用して効率化を図り、省エネルギー化をさらに推進していきたい。



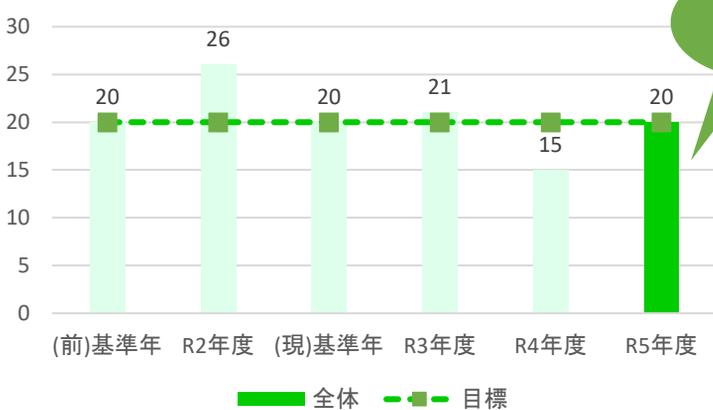
商品・サービス



森林保全活動

[取組目標] 森林保全活動 **20件**

(単位: 件/年)



達成率
100%

活動内容
ボランティアの森林保全、整備活動を実施



柏岳全景



巡視時写真

取組結果の評価

Nakao

一昨年の8月に発生した豪雨により、通行制限が続いた状態となっていた為、活動が難しかった。しかし今年3月よりようやく通行制限が解除され、見回り等の保全活動を少し再開する事が出来、目標は達成する事が出来た。

次年度の取組み

Nakao

3月に通行制限が解除されたことにより、次年度は本年度以上に積極的に保全活動に取り組んで行けると思う。解除されたばかりで、まだまだ見回り等も充分に出来てはいないので、まずは安全確保から進めていきたい。



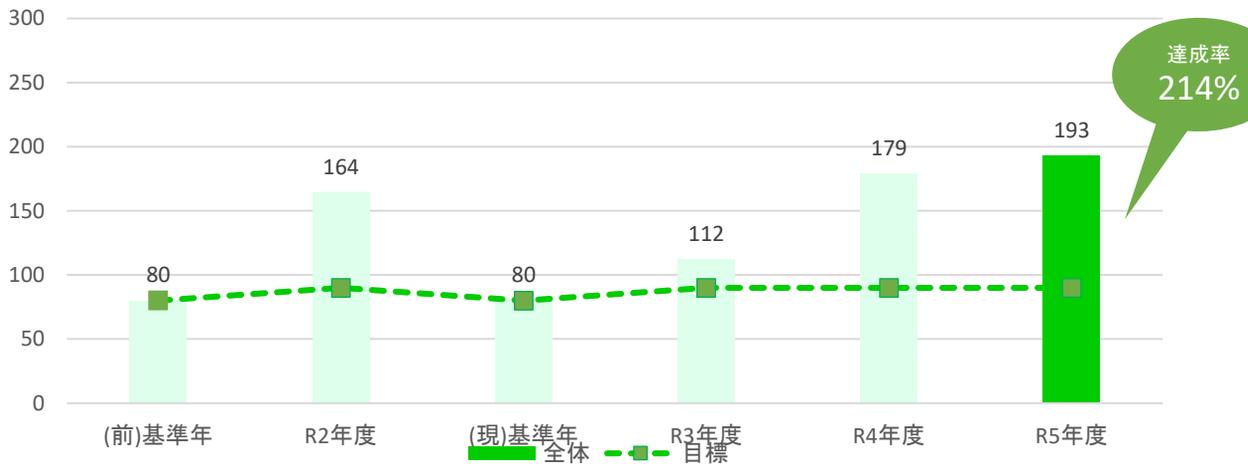
商品・サービス



環境商品

[取組目標] 環境商品の販売 90個

(単位: 個/年)



活動内容

環境商品の販売数を増やす



MORIRECO
モリレコ
モリレコ商品ロゴ

モリレコ3商品

アロマディッシュギフト
セット

アロマオイル



アロمامスト

取組結果の評価

Inuzuka

平成25年12月より開始のアロマオイル事業で、ギフトセット・アロマオイル・アロمامストの販売を継続している。前年度同様、委託業者・ネット販売に環境商品の掲載と販売を続けている。ふるさと納税返礼品への出品は10月で取り止めたが、10月までにたくさんのお申し込みをいただき販売を大きく伸ばす事が出来た。

次年度の取組み

Inuzuka

今年度同様、次年度も主旨を理解頂き販売頂いている地元の委託業者を中心に販売を継続し、地元の方々にはもちろん全国の方々にまずは商品を知って頂き手に取って頂ける様にしていきたい。その為にも広報活動を継続し、1人でも多くの方へ環境商品を知ってもらえる様に取り組んでいきたい。

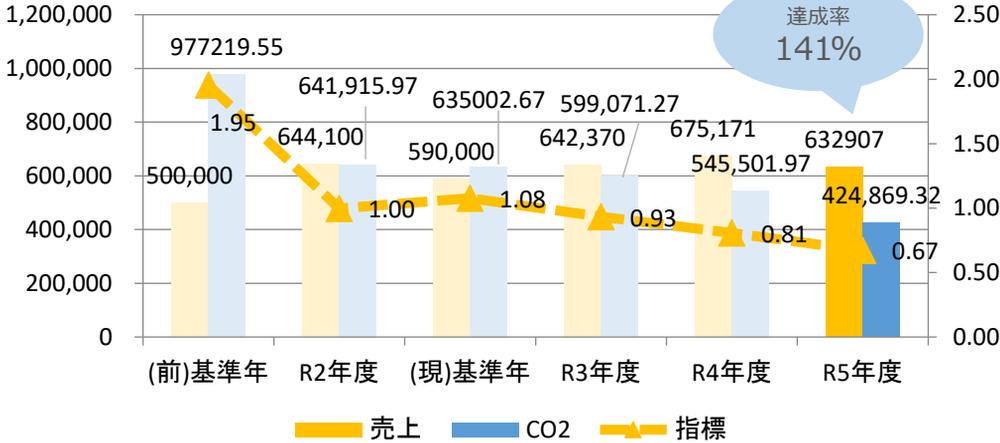


独自KPI



環境KPI

(単位：千円/年)

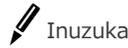


(単位：kg-CO2/千円)

環境KPIの設定

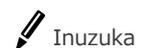
$$\rightarrow \text{千円当たりのCO2量} = \frac{\text{総CO2量}}{\text{売上高}}$$

取組結果の評価



今年度は前年度に比べると売上げが減少したこともあり大幅にCO2排出量を抑える事が出来た。次年度も環境KPIの指標も同時に確認することで、売上に左右されない指標値として増減を確認していく。

次年度の取組み



独自に設定したKPIという売上に依存しない環境指標を基に、前年度や過去の指標と比較することで、今年度もCO2排出量の削減が確認できた。CO2削減には5つの要素が関連しており、どの要素も使用量の削減が求められる。これまでの取り組みを継続し、可能な限り指標の減少を目指していきたい。

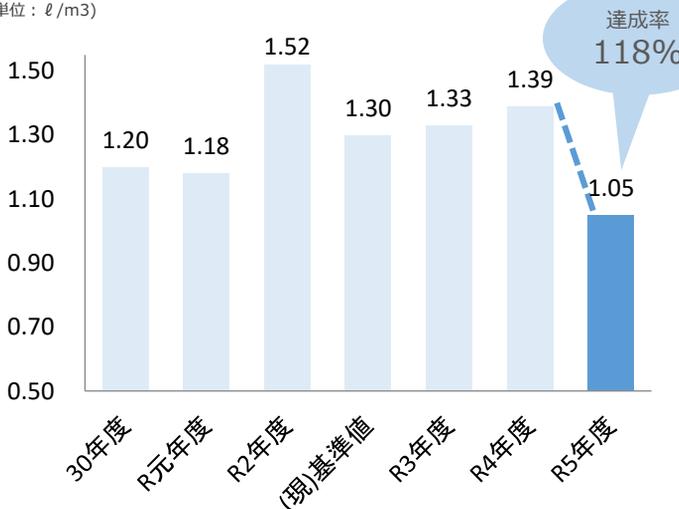


独自KPI



環境KPI

(単位：ℓ/m3)



施工数量当りの燃料消費率

$$\rightarrow \text{数量(軽油使用燃料)} \div \text{累計工事量(施工数量)}$$

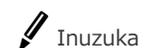
燃料の消費量にも大きく影響を与えることから、その相関関係を用いるための評価として、日々入力している作業日報から各案件毎の「累計工事量(施工数量)」と「数量(軽油使用燃料)」から『1m3当たりに必要な燃料』を算出した。

取組結果の評価



燃料消費率を昨年度と比較すると、今年度は0.34と大きく削減できている。通年、各班での現場施工で、各現場によってオペレータは異なることが前提となるため、重機の稼働効率及び重機操作を平準化することは難しく課題となるが、少量でも燃料消費を抑えることが出来る様、取り組んでいきたい。

次年度の取組み



今年度は前年度に比べ大幅に削減する事が出来、目標を達成する事が出来た。各オペレータの重機操作や所要時間、そして低燃費運転が少しずつ一定となりつつあると思われる。出来る限り次年度も各自の低燃費運転はもちろん、燃料消費率・重機操作の平準化を目標としていきたい。

環境関連法規等の遵守状況

当事務所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関連機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

環境関連法規	要求事項	遵守状況
○廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	土地所有者等の通報努力義務	適
	委託先業者選定基準・委託基準の遵守	適
	処理基準	適
	事業者の処理基準の遵守	適
	保管基準の遵守	適
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	管理表（マニフェスト票）の交付	適
	管理表（マニフェスト票）の写しの送付を受けるまでの期間	適
	管理表（マニフェスト票）の写しの保管期間	適
	管理表（マニフェスト票）に関する知事への定期報告	適
	処理状況の確認	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
工事に伴い生じる廃棄物処理の適用は、元請業者が排出事業者となる	適	
○武雄市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	事業者の責務	適
○資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	パソコン等のリサイクル化	適
	指定副産物の再生資源化	適
○特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	事業者及び使用者の責務	適
	使用の制限	適
	経過措置	適
	建設業法に規定する建設業を営む者で特定特殊自動車を使用する者が特定特殊自動車（法の施行前に製作されたものを含む）の排出ガスが抑制を図るために取組むべき措置	適
○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	特定建設資材の再資源化	適
	再資源化された建設資材の使用	適
	元請業者の書面の交付	適
	下請業者への告知	適
	計画等の届出	適
	下請負人に対する元請業者の指導	適
○特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	事業者の責務（再商品化の協力）	適
○使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車の所有者の責務（自動車の長期使用、購入時の再資源化した自動車の選択、使用済自動車の再資源化の促進）	適
	使用済自動車の引渡義務	適
	再生資源化料金の預託	適
○水質汚濁防止法（水濁法）	貯油施設等からの油の流出の対応・報告	適
	生活排水による汚濁の低減	適
○騒音規制法	特定建設作業の届出	適
	規制基準の遵守	適
○振動規制法	特定建設作業の届出	適
	規制基準の遵守	適
○特定製品に係るフロン類の回収および破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）	事業者の責務（フロン類の排出の抑制）	適
	引渡義務	適
○消防法	生石灰の貯蔵・取扱い	適
○セメントおよびセメント系の固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領	六価クロム溶出試験の実施	適
○建設工事講習災害防止対策要綱（建築・土木）	近隣居住者等への周知等	適
	作業場周辺の環境保全	適



Action

代表者による全体評価と見直しの結果

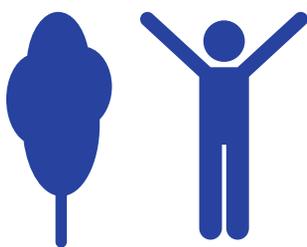
全体評価

<p>環境への取組は適切に実施されているか</p>	<p>日本の経済は、国内外で発生する多くのリスクの影響が、サプライチェーンを通じ直接的にも間接的にも、経済活動に大きく影響を及ぼしています。特に原材料価格の高騰は、環境目標が削減量で判断するため実績面での数値的な影響はないものの、今後大きな影響が出る可能性が十分ある為、経済の動向にも注視する必要があります。 昨年の実績では概ね削減目標の100%超の目標達成でき、未達項目についても一過性の特殊要因による影響はあるものの、PDCAサイクルで繰り返すことで継続的に改善が図れており、適切な取組が常に行われています。</p>
<p>環境経営システムが有効に機能しているか</p>	<p>環境経営システムを構築し、十分な運用がなされています。 特にPDCAサイクルを繰り返し実践することで継続的な改善が年々図られ有効に機能できていると考えます。 また、基幹システムとして導入しているセールスフォースが有効に活用されているとともに社内の全従業員と各アプリを通じ連携を図ることで、効率面で大きな改善が見られ、日々の成長を全従業員が実感できています。 今後は更に、より最適な作業環境の構築を行い、アップデートを続け、継続的な改善を図っていきます。</p>

見直しの結果

<p>環境目標 環境活動計画</p>	<p>変更の必要性 無し</p>	<p>昨年、環境目標、環境活動計画については一部見直しを行っており、今回変更の必要性は無いものと判断、引き続き高い環境KPIの設定の下、継続的な改善を図ります。</p>
<p>その他 環境経営 システムの要素</p>	<p>変更の必要性 無し</p>	<p>2030年GHG（温室効果ガス）の排出削減目標が大きく引き上げられたことで脱炭素化に向けた動きが一気に加速しております。然しながら外的要因による世界経済の環境も大きく変化、リセッションも十分考えられる状況にあります。 私たちは、まず自社が、個人が出来ることを考え、常にアップデートし愚直に実践します。環境経営システムに沿ったPDCAサイクルの継続実践を毎日続けてまいります。</p>





環境活動レポートに関するお問い合わせ先

株式会社セリタ建設

〒843-0002

佐賀県武雄市朝日町大字中野10153-4

☎ 0954-23-7733 📠 0954-23-7787

発行 令和6年8月